

## センター月だより

〒 507 0034 多治見市豊岡町 55 ヤマカまなびパーク4F TEL 0572-23-3455 FAX 0572-26-8813

## 指導日誌より

## = 多治見地区 =

まなびパークや多治見駅で多くの人に声かけ。駅前交番に寄ると、北口に虎渓用水広場が出来たので、人出が増えてトラブルが発生しないか心配との話もありました。(6/14 南姫 9)

根本交流センターで 10 名程の児童が遊んでいたのので声かけ。ちょうど帰宅時間になったので、見届ける。デイリーヤマザキやオンセンドでは児童の様子を聞いた。(6/15 根本 10)

雨天だったが、小学生、高校生とも細い道を広げられず安全に下校していた。皆、元気でにこやかにあいさつが出来、とても爽やかであった。(6/16 養正)

駐在所にて最近の状況をお聞きした。その中で、TV等で起こっている事は近くでも起こっているので気を付けて欲しいこと、巡回は回ることに意義があり、何事もないことが一番だということ伺った。(6/16 脇之島 12)

団地内の路上で、ヘルメットを着用せずに道路の中央付近を走っていた児童に、ヘルメットの着用と安全に乗るように指導した。(6/17 滝呂 8)

児童センターで小学生がボール投げやゲームで

楽しそうに遊んでいた。公園ではキックスケートで遊んでいる子がいたので、道路では乗らないように注意した。(6/22 池田 6)

中学生の喫煙情報があり、小中学校及びコンビニを巡回し、コンビニで店長に未成年の喫煙防止への協力依頼をした。中学校の体育館では多くの生徒が部活をしていた。元気よくあいさつしてくれた。(6/25 北栄 1)

## = 瑞浪地区 =

徐々に日が長くなり、巡回中にもランニングや散歩中の父子、ディスカウントストアから出てきた母子など親子の温かい光景を目にし、心地好さを覚えた。(6/6 稲津 F)

今回は駅前を重点に巡回し、学生に「こんばんは」「お疲れさま」と声かけをしました。(6/7 明世 H)

夜は生徒たちが出歩くこともないようです。中学校では社会人や学生がバスケットをしていました。サークルK周辺はタバコの吸い殻が多かった。(6/20 陶 E)

駅前の歩道上で、スマホに夢中になっている女子高生がいた。背後の様子にはまったく無警戒であっ

## ◆◆◆ 6月 声かけ活動の結果 ◆◆◆

	多治見地区	瑞浪地区	土岐地区	合計
指導人数	1	1	0	2
声かけ人数	284	79	185	548
指導員参加者	78	34	45	157

た。背後から襲われる可能性もあるので注意するよう指導した。(6/23 日吉)

### = 土岐地区 =

高校生が中間テスト期間中のためか、駅でも15人程しか声かけできなかった。東海中生らしい2人連れが、元気よくあいさつを返してくれ嬉しかった。(6/7 泉8)

駅にて女子高校生2人に声をかけようとする、逆に「がんばれ！」と話しかけてきた。旧駅前交番前で、バイクが台と17、18才位の少年3人がたむろしていた。声をかけても知らん顔でした。(6/8 泉8)

駅前の身障者用トイレでは、相変わらず鴨居の上にタバコの吸い殻が多数見つかった。大人とは考えづらい。(6/8 特A)

下校途中の高校生に「こんにちは」と声をかけると、「さよなら」と返してくれた。(6/14 土岐津)

小学校と通学路で、下校に合わせて声かけを行った。どの子もあいさつがきちんと出来ていた。(6/14 濃南4)

男女高校生が駅前階段に座り、飲食しながら話していた。ゴミをその場に捨てる者もいた。自転車置き場では、自分から挨拶してくれる高校生もいて良かったです。(6/15 肥田7)

自転車に乗っている小学生、中学生に安全に気を付けるよう声かけをした。(6/18 下石2)

通学路を下校中の中学生に「気を付けて、さようなら」と声をかけると「さようなら」と返してくれました。ローソンやサークルで小学生、中学生に声をかけるとびっくりしていました。(どうしてこんな所で、先生に会うのかな・・・という感じでしょうか。)(6/21 駄知6)

### 大学も貧困化している？

こどもの6人に1人が貧困だと報道されて久しい。大学生の中にも1000万円を超える奨学金ローンを抱える学生がいるとも聞か、大学本体も同様に困窮しているらしい。

2004年に法人化された国立大学では当時、国からの運営費交付金が年間1.24兆円あったものが、2015年には1.09兆円になり、約12%の減額となっている。

大学の収入としては他に、学生納付金(学費)、寄付金、競争的資金等がある。いずれも増額は難しい中で、特に研究費が必要となる理工系の教員は、競争的資金の獲得に精力を注がざるを得ないという。こうした研究以外の活動が、基礎研究力や研究の多様性の低下をもたらしていると懸念されている。

競争的資金は文科省の他に内閣府、総務省、経産省等々から出されているが、とうとう昨年度、防衛省が「安全保障技術研究推進制度」を始めた。その総額は2015年が3億円、2016年は6億円だが、自民党国防部会は6月2日、「軍事研究予算を100億円に」と政府に提言したと報道されている。

この防衛省<制度>に応募する大学に対し、大学の軍事研究に反対する研究者の団体は、「戦争に加担した戦前への反省から、戦後を再出発したにも拘らず軍学共同に抵抗感が薄れている」と反対の署名運動をしている。

資金が無ければ研究ができないところにつけ込んだ大学版経済的徴兵制とも言えそうだが、子育てや教育、学問研究には通常予算を増やすべきではないか。日本の公財政教育支出は対GDP比3.8%(2011年)。OECD加盟国の平均は5.6%で、日本は最下位だ。

### < センターから > もうすぐ 『 夏休み 』 ですが、

そろそろ梅雨明けになるのでしょうか。指導員の皆様、いつも声かけ活動ありがとうございます。梅雨が明ければいよいよ子どもたちが待ちに待った夏休みが始まります。今年も「夏休み夜間特別活動」をよろしく願いいたします。花火大会や地域の夏まつりの夜に、開放的な気分になって羽目を外さないように、事件・事故に遭わないように、子どもたちへの声かけが大切です。多治見地区1班の安藤班長から報告がありました。「7/1(金)多治見市市民会議主催『あいさつで絆の日』に、多治見高校の生徒40人ほどが、養正小・多治見中の校門であいさつを広めようと働きかけてくれました。心温まるエピソードです。」土岐市でも7/12(火)『土岐市あいさつデー』が青少年育成市民会議の呼びかけで実施されました。各地で広がるといいですね。皆さんも黄色のベストで是非!